

水田下に沈んだ縄文時代の遺跡

— 新潟市江南区 どうしょう い せき 道正遺跡・おかざき い せき 岡崎遺跡 —

会期 2024 2025
9/14(土) 3/23(日)

観覧
無料

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)、
11/26(火)、12/28(土)~1/3(金)、
2/12(水)、3/21(金)



道正遺跡出土品

第1会場

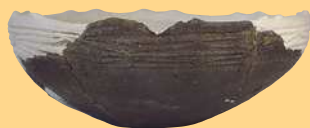
新潟市文化財センター (黒埼南小学校から北へ700m)

開館時間 平日 午前9時~午後5時 土・日・祝日 午前10時~午後4時

第2会場

史跡古津八幡山 弥生の丘展示館 (新津美術館となり)

開館時間 午前10時~午後5時 (入場は午後4時45分まで)



鳥屋遺跡出土品

平成30(2018)年、江南区割野で新潟中央環状線の建設工事に伴い、遺跡の有無を確かめるため、試し掘りをしました。すると、現在の水田や畑の下の洪水性堆積層から平安時代(約1200年前)や古墳時代(約1700年前)の遺物、さらにその下の砂丘砂からは縄文時代終わりころ(約3000年前)の土器や石器が大量に発見されました。小字名から道正遺跡、岡崎遺跡と名付けました。

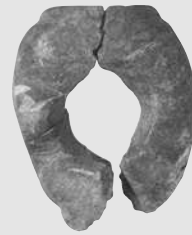
これらの遺跡は、亀田砂丘の延長上にあり、この砂丘の一部が、新潟平野の沈降に伴い水田下に埋没したものと推定されます。いずれの時期においても遺跡の周りには潟湖や湿原が広がっていたことでしょう。

また、砂丘では、土器の原料となる粘土や、石器の材料となる岩石などはありません。どこから運ばれてきたのでしょうか。またこの時代には、土器の模様や形に大きな変化が見られます。

少しずつ弥生時代に近づいてゆく時期の他地域との交流や土器の変化を、展示品をとおしてご覧ください。



遺跡の位置と周辺の景観



根付状垂玉(実物大)



鉢(口径15cm、高さ13cm)

講演会

※ 終了後展示解説を行います。

会場 / 先着60名(申し込み不要)

オンライン配信 / 先着100名(要申し込み)

会場はいつでも新潟市文化財センター1階 研修室

10/5[±] 午後1時半~午後3時

「道正遺跡と岡崎遺跡の発掘調査概要と企画展の見どころ」講師 高橋 保雄(新潟市文化財センター)



申し込み用
二次元コード

オンライン配信申し込み期間 9/4(水)午前9時~10/2(水)午後5時

11/9[±] 午後1時半~午後3時

「縄文時代晩期の土器変遷と道正遺跡の位置付け - 下越地域を中心に -」

講師 渡邊 裕之氏(新潟県文化課)



申し込み用
二次元コード

オンライン配信申し込み期間 10/9(水)午前9時~11/6(水)午後5時

11/30[±] 午後1時半~午後3時

「縄文時代の生産と流通 - 透閃石岩類・輝緑岩類・青トラ石製磨製石斧を中心に -」

講師 高橋 保雄(新潟市文化財センター)



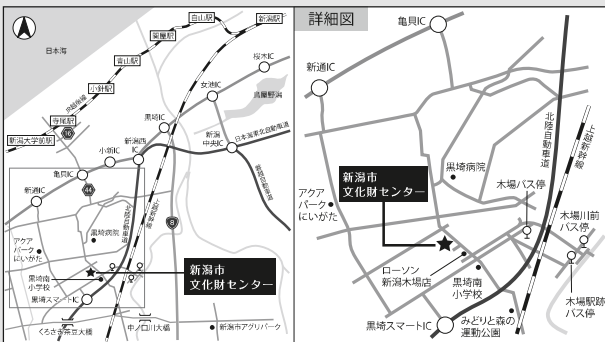
申し込み用
二次元コード

オンライン配信申し込み期間 11/6(水)午前9時~11/27(水)午後5時

第1会場

新潟市文化財センター

〒950-1122 新潟市西区木場2748-1 TEL 025-378-0480 FAX 025-378-0484
https://www.city.niigata.lg.jp/kanko/bunka/rekishi/maibun/index.html



第2会場 (第1会場から車で30分)

史跡古津八幡山 弥生の丘展示館

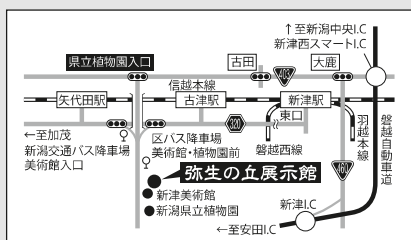
〒956-0846 新潟市秋葉区蒲ヶ沢264番地(花と遺跡のふるさと公園内)
TEL・FAX 0250-21-4133
https://www.city.niigata.lg.jp/kanko/bunka/rekishi/maibun/kuni_furusuhachiman/



展示解説

9/28[±] 午後1時半~

会場 / 史跡古津八幡山 弥生の丘展示館
申し込み不要(直接会場にお越しください)



第2会場では、鳥屋遺跡(北区)や、大沢谷内遺跡(秋葉区)など道正遺跡と同じように水田の下に沈んでいた縄文時代終わり頃の遺跡を紹介いたします。



鳥屋遺跡出土品